



三重電気会報

平成18年1月発行 第99号

新年あけまして
おめでとうございます
本年もよろしく
お願い申し上げます



獅子と鼻高（名張支部・吉岡正二）

年頭ごあいさつ



三重県電気工業業組合
三重県電気工事協力会
理事長
会長 楠 修次



を尽くしていく所存でございます。

また、第一種電気工事士定期講習については、二〇〇六年度以降公募方式となりましたが、従来どおり全日電工連が受託することとなりました。講習実施回数

は減少しましたが、引き続き収益事業に寄与するものと思っております。

一方、全日電工連において、業界周辺を取り巻く動向に対応した新技術の研鑽、特に情報配線の資格取得等に取り組んでおり、三重県工組としても、消防設備士及び給水装置工事等各種講習会を開催し、提案型営業に繋がる新技術の習得に向け積極的に取り組んでおります。

次に、深刻化する組合員の減少であります。昨年四月から十名の組合員が退会をされ、新規加入がないという現実があります。

今後、組合への加入のメリットを一段と明確にし、

各支部の加入条件の緩和措置を含め幅広く検討してまいりますとともに、後継者の育成に鋭意取り組んでまいります。

さて、安全に関しては、中部連合会大では昨年九月から十一月にかけて、死亡事故を含む重大事故が3件発生しました。

その原因の多くが、基本的なルールが守られていなかったことが判明しており、改めて作業標準の遵守と基本動作の徹底をお願い致します。

なお、中部電力様には、優良工事の推進、作業安全の確保をはじめ、懇切丁寧なご指導を頂いております。どうか本年も昨年同様宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員の皆様並びにご家族・従業員の皆様方の安全と健康をご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

二〇〇六年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

平素は、三重県電気工業業組合並びに協力会事業に對しまして、格段のご協力を賜り誠に有難うございます。

本年は、三重県電気工業業組合四十周年並びに三重県電気工事協力会創設六十周年と記念すべき年を迎えることとなりました。

昭和二十一年に協力会、昭和四十年に工業組合発足以来、様々な歴史を綴ってまいりました。

時代は高度化・情報化社会となり、三重県電気工事

業工業組合及び協力会においても、古い伝統に新しい時代の技術力を駆使して、他の業界の模範となるよう努力邁進して参りましょう。

さて、昨年は中部地域の歴史に新たな飛躍のページを開く重要な年であったと思っております。中部国際空港の開港をはじめ、二〇〇五年国際博覧会では、百二十カ

国以上の国々の参加の中、予想を超える入場者もあり産業界にも多大な影響があったものと考えます。

また、日本経済に目を向けますと、景気も大企業を中心とし好転の兆しは見え

ますが、まだまだ原油高騰が続くなか、中小零細企業には不況感を払拭するまでには至っていないと考えます。

我々電気工業業界も今後どのような将来展望をもち、時代の変化に対応していくかが大きく問われております。

三重県工組としましては、収益事業の一環として、一昨年から一般用電気工作物の「調査業務」を実施しておりますが、幸い現時点においては、順調に推移しており、今後目標達成に向けて役員一丸となって全力

新年のご挨拶



中部電力株式会社
取締役三重支店長

新澤 隆

新年明けましておめでとう
ございます。

会員の皆さまにおかれま
しては、ご家族お揃いで、
素晴らしい年をお迎えにな
られたことと存じ、心から
お慶び申し上げます。

また、旧年中は、弊社の
事業運営に格別のご理解と
ご協力を賜りまして、厚く
お礼申し上げます。

とりわけ、平素より皆さ
まのお世話になっておりま
すオール電化機器の普及拡
大につきましては、お陰様
を持ちまして、ここ数年順
調に拡大を続け、弊社管内

におけるオール電化住宅は、
昨年二十万戸を突破し、至
近の実績では、すべての新
築住宅のうち約二十五%に
ご採用いただくまでに成長
いたしました。

これは、貴会をはじめハ
ウスメーカー・工務店・電
気メーカーなど、業界の皆
さまのご協力の賜物と改
めて感謝申し上げます。

私どもは、今後も、ご好
評いただきありがとうございますエ
コキュート、クッキングヒ
ーターをはじめとした、オー
ル電化機器の普及拡大に取

り組んでまいりますので、
本年も引き続きまして、一
層のご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

昨年は、二月の中部国際
空港「セントレア」の開港
に始まり、大成功を治めた
「愛・地球博」など中部地
方におきましては、全国を
リードする大変活気に満ち
た年でありました。

万博、空港効果に加えて、
三重県に代表される液晶、
半導体関連などの大規模工
場を中心とした活発な生産
活動により、弊社の上半期
の販売電力量は、過去最高
を記録しました。

また、電力事業におきま
しても、電力小売り自由化
開始から五年が経過し、昨
年四月からは、五十キロワ
ット以上のお客さままで自
由化が拡大され、「日本卸
電力取引所」や「電力系統
利用協議会」の運用開始と
ともに、「託送制度」が見
直しされました。

十一月に電力会社間で初
めて、九州電力が供給エリ
ア外のお客さまに電気の供
給を開始したことは、ご記
憶に新しいところでありま
す。

本格化する電力会社間と
の直接競争に加えて、特定
規模電気事業者との競争激
化や家庭用をはじめとする
ガスとの激しいお客さまの
奪い合いなど、業種や業態
を超えた様々な競争は、今
後更に激しさを増していく
ものと考えられます。

折りしも、昨年十月には、
原子力のバックエンド事業
の積立金に関する法律が施
工され、使用済み燃料の再
処理に要する費用を電気料
金として申し受ける仕組み
が見直しされました。

これを機に、弊社は、制
度変更の内容を電気料金に
反映させていただくとも
に、最大限の効率化努力を
織り込み、本年四月に電気
料金の改定を実施させてい

ただくこととしました。
今後引き続き、全従業員
が「一丸となり、お客さま
にご満足いただけるよう低
廉で良質な電気を安定的に
お届けすることに努めてま
いります。

本年は、貴会創立六十周
年に当たる輝かしい歴史の
幕開けの年と伺っておりま
す。今後益々のご発展を祈
願させていただきますと
もに、弊社も過去から培っ
て参りました会員の皆さま
との信頼関係のもと、お客
さまから選択いただける
企業を目指し、鋭意努力し
て参る所存でございますの
で、今後とも倍旧のご支援
とご鞭撻をお願い申し上げ
ます。

最後に、新年を迎え、貴
会ならびに会員の皆さまと
ご家族さまの一層のご発展
とご多幸、そして安全を
祈念いたしまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます
す。

第28回技能オリンピック 三重県大会開催

平成十七年九月十三日、残暑厳しい中、役員、選手、関係者二二〇余名が参加し三重県大会を盛大に開催しました。

森井大会運営副委員長の司会により進行、岡野大会委員長の「一開会のことば」次いで前回優勝の四日市支部・大西氏から優勝旗返還、楠大会会長の挨拶、来賓代



優勝・富田支部

表新澤中部電力備取締役三重支店長の挨拶の後、津チームの和田選手による選手宣誓を行い、次いで伊藤大会運営委員長の競技概要及びスケジュール説明を行った。

引き続き櫻井審査副委員長の実技課題説明があり、各チーム実技競技の材料確認の後、十時十五分実技開始となった。



準優勝・桑名支部

支部選抜五チーム(津チ



ーム・名張チーム・尾鷲チーム・富田チーム・桑名チーム)は、この日の為に鍛えた技をいかに発揮し実技課題に取り組んだ。

そして、実技終了したチームから順次接遇面談を行った。昼食の後、学科試験を実施し、十四時に終了した。

安全ビデオの上映、配線解体を行った後、表彰式となった。

栄えある優勝は、富田チーム・準優勝は、桑名チームそして努力賞は、津チーム・名張チーム・尾鷲チームとなり、それぞれ表彰されました。富田チーム・桑名チームは、更に十月二十七日に行われる中部大会に出場が決定した。

第28回技能オリンピック 三重県大会を振り返って

富田支部 技術経営委員 池田卓三

今大会が事故も怪我もなく無事終了しましたことを、安堵いたしました。

又、この大会に中部電力四日市営業所、所長様初め配電建設課課長様、皆様方のご指導、ご支援で富田支部を優勝に、導いてくださいました事を心より、厚く御礼申し上げます。

六月中旬より猛暑の七月、八月、九月と長きに亘り、実技、学科と練習を重ね酷暑の九月十三日の大会に挑み見事、「優勝」を勝ち得た選手の方、又補欠の方を「よくやった」と褒めてやりたいと思います。

苦言になりますが、「勝つて兜の尾を締めよ」のごとく「優勝」の二文字は出場選手の方々の汗みどろのご健闘は元より中部電力四日市営業所のご指導賜った皆様、又支部役員の方々、組合員全員のご苦勞も、忘れ

てはならないと思います。

「優勝」するんだと言う、色々な要素がタイミング良く重なった事もあり目標に向かって人は支えあっていく事を、私も今更ながら感じ入りました。選手の方々も「優勝」に向かって一生懸命、練習された中から色々と感じとり、今までに無い何かを掴み取ったと思います。「安全」「迅速」「丁寧」を心掛け私も電気工事に携わる一人として見守っていきたいと思います。

これから、技能オリンピック中部大会出場に向け死闘の練習がはじまりますが三重県の代表支部として、組合員数の少ない富田支部ですが中部大会で旋風を巻き起こして、悔いの残らない競技が出来るよう支部一貫となって協力していきたいと思えます。

(平成十七年九月十六日)



中部オリンピック開会式

愛知県日進市にある中部電力(株)人材開発センター「配電研修所内線実習館」において、連合会各県十二チームが技術、技能を競い合いました。三重県は、二チーム出場し、桑名チーム(三重B)が第三位、富田チーム(三重A)が敢闘賞を受賞しました。

第28回技能オリンピック 中部大会に出場

平成十七年十月二十七日、愛知県日進市にある中部電力(株)人材開発センター「配電研修所内線実習館」において、連合会各県十二チームが技術、技能を競い合いました。三重県は、二チーム出場し、桑名チーム(三重B)が第三位、富田チーム(三重A)が敢闘賞を受賞しました。

(技術経営委員会)

- 〔総合入賞〕
- 優勝 岐阜Aチーム
- 準優勝 長野Aチーム
- 〃 長野Bチーム
- 第三位 三重Bチーム
- 〃 愛知県東部Aチーム

(敢闘賞)

- 第一位 長野Bチーム(小林)
- 第二位 静岡Aチーム(大石)
- 第三位 三重Aチーム(濱谷)
- 〔敢闘賞〕
- 三重県Aチーム
- 名古屋Aチーム
- 名古屋Bチーム
- 岐阜県Bチーム
- 静岡県Aチーム
- 静岡県Bチーム

(実技賞)

- 〃 愛知県東部Bチーム
- 第一位 愛知県東部Bチーム
- 第二位 岐阜Aチーム
- 第三位 名古屋Bチーム

(安全賞)

- 第一位 長野Bチーム
- 第二位 三重Bチーム
- 第三位 岐阜Bチーム

(学料賞)

- 第一位 長野Bチーム(小林)
- 第二位 静岡Aチーム(大石)
- 第三位 三重Aチーム(濱谷)

第22回電気工事業 全国大会開催

十一月一日・二日、第十二回電気工事業全国大会が福岡市「JAL リゾートシーホークホテル福岡」において、過去最高規模となる二千人を超える組合員が集結して開催されました。

三重県工組からは精理理事長始め青年部会役員を含む12名が参加しました。今回の大会は、メインテーマ「九州から発信「変化への対応と挑戦」と位置づけ、「安心・安全で社会に

関係団体の表彰

つきの方々各関係団体から、晴れの表彰を受章されました。おめでとうございます。

三重県技能者表彰

平成十七年十月二十九日

三重県電気工事業工業組合

副理事長 倉田 隆

三重県中小企業団体中央会会長表彰

平成十七年十月二十五日

組合功労者

三重県電気工事業工業組合

常任理事 石原 和夫

理事 森本 恭弘

組合優良職員 上野支部 吉川 由起美

- 貢献する電気工事業界」を目指し、「中期的な展望にたつて業界のビジョン構築」するため、初めての試みとして各都道府県の理事長と青年部代表が同じテーマについて今後の業界の構造改革に向けて、意見交換会、シンポジウム等を開催しました。十分な討議の後、以下のことについて決議が行われ、画期的な大会となりました。
- 1、お客様の立場に立った提案型技術営業の構築
 - (1) 直接受注構造への意識改革
 - (2) 地域社会に向けた安心・安全の提供
 - (3) 障害顧客の確保とストック需要の掘り起こし
 - (4) 電気保安の確保と一般用電気工作物の保守管理業務の再認識
 - (5) 情報通信配線施工等新しい技術・知識の習得
 - 2、組織の改善
 - (1) 組織の整備と財務体質の改善
 - (2) 後継者の育成
 - 3、業界福利厚生事業の改善と充実

新春を迎えて

オートバイツーリング

津支部(S21年生)

前田 宏

今年八月に六十才を迎える私が、今楽しんでることは、オートバイに乗って、同好の士とツーリングに出掛ける事です。現在は同じ車種に乗った近辺の人達のクラブに入って、毎月一回日曜日にツーリングを楽しんでいます。

私が家族に「オートバイに乗りたい」と話したのは二十年前でした。「危ない、事故を起こしたら家族は如何したらええんや。」と反対されましたが、何回かの話の中で漸く折れ八〇〇ccのオートバイを購入しました。

いざ、手に入れたものの、実際に乗ってみると恐怖心が

先に立ち、動かすのがやっとの状態です。この先ツーリングに行く事ができるだろうかと不安で堪りませんでした。

そうこうしていると、購入した販売店から一泊ツーリングの案内が届き、意を決して参加することに。しかし、他の参加者の足ままといにならないだろうかと不安でいっぱいでした。当日、走り出しは何とか着



同好の士と一緒に

いて行く事ができましたが、先に進むにつれ速度も上がり、道がカーブの多い所に差し掛かってくると極端に私の速度が落ちて前者と離れ後者に迫られ、ますます、恐怖心が湧きあがってきました。それでも何とか、民宿まで辿り着く頃に、何やら楽しい気分になってきました。

その日の夕食時には他の参加者とオートバイ走行の仕方など話ができるようになり、随分と気持ちに余裕が出てきました。その後、何回かツーリングに参加し、自信もつき、今に至っています。

さて、最近同好の士数人と伊豆下田の道の駅を目的地にスタンプラリーに出掛けました。

当日午前四時に三重会館

前に集合し出発しました。川越ICより伊勢湾岸道に入り豊田JCTにて、東名高速へと入る頃に日の出となり、道路が東向きなので朝日が眩しく少し走り辛く思いながらも浜名湖SAに到着、休憩をはさみ、燃料を補給して出発、沼津ICまで一四五kmをノンストップで走りました。

その後高速を降り、清水町のファミリーストランで朝食を摂った後、湧き上がる源流域を見たかったので柿田川湧水公園の展望台へ寄りました。記念写真を撮り、さあ伊豆半島へと出発、R一三六号を南下、天城湯ヶ島町より右折、土肥温泉方面へと進み、道路が適度にカーブあり高低さありでオートバイに乗った喜びを噛み締めながら、大変楽しく海岸線まで走りま

した。天候に恵まれ、富士山が右手左手に見えつ隠れつ、その素晴らしい姿を現してくれ、最高の気分でした。

目的地、道の駅「開国下田港」に着き、スタンプ帳に押印してから、土産物店を見たりして休んだあと、帰路につきました。

途中、富士川SAで名物「富士宮焼きそば」をみんなで買いました。ツーリングの楽しさ快さを満喫した一日でした。

この他にも、色々買物をしたり食べに行ったりと楽しんでいきます。因みに、有名ではありませんが、旨い焼餅が吉野に、焼き豚が京都に、明石には蛸パンがあります。また有名なものでは出石の皿蕎麦などを目指して、おっさんライダーが今日も走ることを喜びに活力の源として楽しんでいきます。

とりとめの話しを長々と、つたない文書で申し訳ありませんでした。



(7面へつづく)

年男を迎えて

上野支部(S9年生)

界外延寿

(6面よりつづく)

昭和九年生まれの七十一歳、電気工事業として現在までがんばっております。

昭和二十八年学校卒業と同時に見習いとして工事に従事、その当時は、配線には、ノッククリート、壁貫通には、碍管を入れ、ローゼットは、セトモノコードにソケットを付けて工事をしたものです。現場には、自転車で竹籠の入れ物にノッククリート、碍管、電線は、四種線、赤い色が手に付いて困ったものです。平均十キロ、十五キロ位の現場へ、モートルを横にくくって朝早く出かけたものです。

私たちの時代は、経済成長の最中、仕事は、見習から二、三年は、ぼちぼちでしたが、昭和三十三年頃からは、非常に忙しくなり、自転車からオートバイ又自動車となり、配線方法も碍

子からケーブル配線になり非常に仕事がいやになり、現場移動も自動車で行くようになり、前の苦しい時代を思い出して懐かしく思っております。

戦後丸焼けになった大都會、現在のビルを見て誰がこんなに立派になった日本を想像したでしょう。建設業界に携わっている我々電気工事業者が、大きく飛躍したのも日本人ががんばってきたからこそ世界に誇ることができます。土、日曜日は休み五時には仕事を終えて帰るこんな時代は我々世代は、夢のようでございます。

今つくづく考えると人生そんなに仕事ばかりして何が残ったかそんな事を考えるようになりました。

現在の若い人又電気工事に携わっている人達は、魅力ある職場作りをしていたきたい。

汚い、危険、きついでは、若い人が敬遠してしまい職人さんが育たない職場になっ

てしまいます。

これからの時代は、非常に難しいと思います。しかし電気工事の仕事は、新設、増設、移設、修理と他の業界と比べて非常に仕事の種類が多くやる気を出せばいくらでも成長する業界です。やる気を出してがんばってこれからの日本を世界のトップにしていきたい。

我々昭和一ケタ代の人々は、休むことを知らず、遊ぶことも知らずがんばってきたと思います。これから、若い人達にバトンタッチして、ゆっくりと人生を振り返って見たいと思います。

我家の歳時記

名張支部(S21年生)

西口博嘉

先日次女が嫁ぎました。七歳上の姉と二人姉妹で、姉が小学校入学式の日に誕生しました。その日我家はあわただしい二重の喜びとなりました。

夜、妻とアルバムを出し

て、子どもの写真を見ながら、次女の誕生から今日までの思い出話となりました。驚いた事に幼児期の長女の写真ばかり多くて次女が少ないので申し分けない気持ちになりました。

次女は幼児の時から喘息で病院通いが続きました。車での家族旅行も再々車酔いで気分が悪くなり旅行と言っても喜びませんでした。中学校時代からは元氣になり何事も積極的にする様になり、祖母の介護や姉の子供の世話や妻の手伝い、自分で計画した家族旅行や妻と姉を連れてのショッピング、又姪二人を連れて遊園地へと、とてもよく面倒をみてくれました。

又、自分の進学や就職も迷わず決め社会に出てからもボーイフレンドが出来れば家に連れて来て親に紹介してくれ気持ちのやさしい明るい子に育ってくれました。

家族を持った一人を見守って、いこうと妻と話していた

時妻が、「お父さん来年は戌年で還暦を迎えるんやなあ」と言われ「ハッ」としました。今までは来年は還暦を迎える年で普通の人生の通過年ぐらいの思いで身体も悪い所はなく、少し五十肩と老眼の症状がでる程度で私の気持ちでは「還暦とは老人、老人とは退屈な余生」と言う感覚だったので認めたくなかったと思います。

妻は六歳下の為、私の気持ちも考え方も五十代前半と違っていましたが、現実として還暦を迎える準備をしなければと思い、これから先、妻とどう過すかと言う話になりました。

定年のない仕事ですが、毎日々が楽しく充実した日になりたいと言うので、それでは何か楽しみを見つけ、出来れば二人で出来る事があればいいなと言うと、妻が裏の遊んでいる畑を手入れして、まず野菜や花を育てようと言う事になりました。

(8面へつづく)

(7面よりつづく)

た。又自分だけの何か一つの事に打ち込める趣味を還暦を迎えるまでに探すと言う約束をしました。

還暦を迎えると言う事は再び自分の生まれ干支に還るの他に、今までの六十年のわが人生を振り返り教訓としてこれからの人生の門出となる出発点だと思っ

たら前向きな気持ちになり頭から「老人」「退屈」「さみしい」「余生」と言う気持ちが無くなりました。

還暦とは、「迎えた人は、

これからの人生を楽しみなさい」と気付かせてくれる

通過年であると思います。

皆様はどんな思いで新年

をお迎えですか。私は今年で四度目の新年を迎えることが出来、大変嬉しく思っております。

というのも四年前に心筋

梗塞になったからです。多くの場合は1/2が死亡、1/3が後遺症を残すといわれます。私が残りの1/3になれたのは、妻のおかげと思っております。

妻は、職業柄看護関係の知識があるからです。

三年前の九月の始め、卓上の夕食とビール。私はきょうも遅くまで仕事をしたらから疲れたなあと思っただけでした。

妻は私の様子がおかしいので、消防署へ電話し、二〇キロ余りある病院の何処が当番なのか、それに、自家用車と救急車、どちらが早く到着するのか天秤に掛けていたようでした。

助手席に乗り、中程の二見町くらい迄は覚えていましたが……病院に着くのを待っていたかの様に、呼吸停止、そして心停止、手術台へと。

意識のないまま、何日か経ちました。意識の戻る確率は五十パーセントといわれたようです。十日程して気

が付くと三階の部屋のベッ

ド上で、体が思い通りにならない状態でした。今思えば、体だけは自信を持っており、日頃から、ビールを飲めば、翌日はスッキリ、疲労なんて……と。午後三

時以降は水を飲めばビールがまずいから、水分を摂取しないという習慣がついていました。

午後の納期のこと等で、ストレスは溜まっています。たが、それを睡眠だけではどうもとれなかったようです。このあたりが、私の愚かなところでした。

当時、これからの第二の人生か、と思ってもすぐに死を考えていました。死が怖くない、むしろそのことが怖かったのです。孫も、一人で、ただ、ただ泣くことしかできない状態でした。

しかし三年経つたいま、三人の孫が歩き、笑い、その笑顔を見ると、やはり生きていてよかったと思えますし、その愛嬌のある笑顔が、私の病気をなおす特効

薬になっていきます。目に入

れても痛くない孫に、子育てには「三分の飢えと、三分の寒さ」が必要といわれますが、そんな鬼みたいな事を私にはできそうにありません。

人生の折り返し点を過ぎたいま、生きて来た人生を振り返ってみると、電気工事の中で、さまざまな素晴らしいお客様、個性ある電

気工事組合の皆様、多くの方々のお陰で、幾多の体験と人生経験をさせていただいた事は、私の宝であり、誇りであるとひしひし感じております。

そして、いま幸せな家庭を築いてくる事ができたのも、皆様のおかげと感謝しております。「ばあさん子は三文安い」といわれながらに孫の守りをしながら仕事をしたいと思っております。

今迄は、「太く、短く」の様な生き方でしたが、これからは、のんびりと、ゆったりと、自分の人生を楽しみ

ながら、「細く、長く」仕

事をしたとも思っています。新春を迎え、皆様の御健康と御多幸をお祈りします。

今こそ

はばたかねば!

四日市支部(S33年生)

服部正己

初春のお慶びを申し上げます。平素は、何かと皆様のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度、年男という事で原稿の依頼がまいました。正直何を書いていいのやら。普段から年男だからどうだという目標や、抱負をもって行動するほうではないのでいささか原稿用紙を前にするとなかなか手につきません。

ただ、時代の流れが目まぐるしく変化する中でいかにその時代の波を乗り越えて、今以上のものをつかんでやろう!という気持ちは、どの方々も感じている部分ではあると思います。

(9面へつづく)

(8面よりつづく)

大局的に電気業界も土木業界以上に業者さんの数が多数にわたる中、業界同志の競争も激化する中で他業種の電気業界への進出も配慮に入れた仕事を要求されている時代と言われています。又、感じております。

確かに他業種の情報や、交流も必要不可欠だと思いますが誰しも自分の身がかわいい中で、競争の確率が少ないほうがいいに決まっています。又、その逆を考えればいいという話にもなりますが……。私もこんなことを書きながら何も出来ない自分に苛立ちさえ覚えることもあります。大変失礼な表現になるかもしれませんが、入ってくるものを拒む事は困難です。

しかし、長年培ってきたものを飛躍させることは可能と考えれば、おのずと優位に立てるものになるのではと思うのですが、具体的なものが何も見つからない中で、ご活躍をされている

方々が実際にお見えになる訳ですから、見習って「はばたかねば！」と日々感じております。

最後にこの原稿を書く機会に恵まれたことに感謝させて頂くと共に、平素よりこの業界の為に苦勞されている役員様初め、組合の方々のご協力を無にするのとなく、一組合員としての使命を果せるよう協力を惜しまない精神で頑張ります。

そのためにはまず、健康ですかね……。それと日々消耗している気がする体力改善。飲酒は、セーブの仕方を知らないから書かないようにします(両親に感謝)。こんな私ですが、本年もどうか宜しくお願い申し上げます。



最近気付いたこと

鈴鹿支部(S39年生)

H・T

私が電気工事の仕事に就いてから、知らず知らずのうちに二十数年が経過しました。

工業高校の電気課を卒業したとは言え、入社したての頃は右も左もわからず、仕事もただ立っているだけの毎日でした。こうした私を毎日鍛えて下さった諸先輩の方々には、本当に感謝致しております。

さて、近年のパソコンの普及により電気工業界においても、図面の作成や文書管理をパソコン中心で行うようになりました。

当初、当社にパソコンが導入された頃は、その無限の可能性を秘めた「箱」に魅力を感じ、毎日パソコン関連の本を読みあさり、キーボードを叩きまくっておりました。

しかし、三十歳代後半のある時期を境に、パソコン

の前に座る事が苦痛になってきました。「なぜ？」理由は簡単でした。日々加速するパソコンの進化に、我が脳ミソが拒絶反応を示し始めたからでした。

つまり、新しいソフトウェアについていけなくなったのです。最近ではパソコンにエラーメッセージが出る、「機械の分際で人間に命令するな！」とよく叫んでいます。

とはいえ、仕事を拒否するわけにもいかないため、日々苦戦しています。操作が分からない時は、若い社員を呼ぶ、何度も呼ぶ、そして同じ事を何度も聞く。若い社員の目が訴えています、「いい加減覚えてくださいよー」と。

私にも若い頃経験がありました。本で調べないで先輩に何度も聞いてくる上司、イラつきながらキーボードを連打する先輩の方々。そんなことを考えているうち、ふと気づきました。私が若かった頃、そういった人た

ちの事をカゲで「オジサン」と呼んでいたことを。

ショックです。若い社員は私のことをおそらく、いや絶対に「オジサン」扱いしているに違いありません。四十歳を過ぎて初めて気づきました。

そういえば認めたくなかった事実は少し前からありました。人の顔と名前が一致しない、文字を読むとき無意識に遠ざける、ろくに取扱説明書も読まずに電化製品を操作して使い方が分からないと怒る、などなど……。

そういった事を深く認識し、最近では以前にはなかったメモを取るクセを身に付けるべく、日々心がけております。

今日も残業で悪戦苦闘です。事務所から私の叫びが聞こえてくるはずですが。

「機械の分際で……」



第三者損害賠償事故支払給付金の一部取り扱い 変更及び共済会規約の改正等について(厚生委員会)

1. 再発防止事故調査料(安全分担金)

(1) 事故発生会員に対する損害額(支払保険金)に合わせた安全分担金を会費に上乘せし申し受ける。

- ① 50万円未満 会費×1.5 (50%UP)
- ② 50万円以上100万円未満 会費×1.8 (80%UP)
- ③ 100万円以上 会費×2.0 (100%UP)
- ④ 同一年度内に複数回の事故発生会員には、支払保険に関係なく会費×3.0 (200%UP)
- ⑤ 上記について5年間継続支払とする。

2. A会員及びB会員の会費の改正

会 員		全員加入型		任意加入型		オプション	
		改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
A会員(稼働人員20名以上)	年額	25,000円	60,000円	45,000円	100,000円	12,000円	20,000円
B会員(稼働人員6名以上19名まで)	年額	20,000円	35,000円	40,000円	60,000円	10,000円	15,000円
C会員(稼働人員5名まで)	年額	10,000円	10,000円	23,000円	23,000円	8,000円	8,000円

3. 免責金額の変更

(1) 現在一律の免責金額3万円(誤結線、誤配線は10万円)を支払保険金額によって下記のとおりとする。

- ① 50万円未満 一律5万円 ただし誤結線、誤配線は5万円にプラス10万円
- ② 50万円以上100万円未満 一律10万円 ただし誤結線、誤配線は10万円にプラス10万円
- ③ 100万円以上 支払保険金額の20% ただし誤結線、誤配線はプラス10万円

※ 事故をした事業所が全員加入の場合、次年度より無条件で補償額の高い任意加入に変更をして下表を5年間適用する。(事故した年から5年間適用)

種 類	ランク	事故の補償額	50万円未満	100万円未満	100万円以上	1年に2回以上
		ペナルティー	50%増	80%増	100%増	200%増
全員加入	A会員	年額 60,000円				
	B会員	年額 35,000円				
	C会員	年額 10,000円				
任意加入	A会員	年額 100,000円	150,000円	180,000円	200,000円	300,000円
	B会員	年額 60,000円	90,000円	108,000円	120,000円	180,000円
	C会員	年額 23,000円	34,500円	41,400円	46,000円	69,000円
オプション	A会員	年額 20,000円	30,000円	36,000円	40,000円	60,000円
	B会員	年額 15,000円	22,500円	27,000円	30,000円	45,000円
	C会員	年額 8,000円	12,000円	14,400円	16,000円	24,000円

4. 再発防止事故調査会(検討会)について(従来通り)

(1) 100万円以上の事故発生時、厚生委員長が判断し開催する。

(2) 出席者

- ・厚生委員会担当副理事長及び厚生委員会正副委員長の内1名
- ・当該支部長もしくは、厚生委員
- ・事故発生当該事業所1名

5. 実施年月日 平成18年1月1日から実施する。(事故発生日)
会費の改正及び安全分担金については、平成18年度徴収分から実施する。

事故による保険金の支払いは、保険会社の資金ではなく、皆様方の掛け金の中から支払われています。

なくそう
誤結線
厚生委員会

▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部名	種別	コード番号	事業所名	代表者	郵便番号	住所	電話番号	登録届出番号
尾鷲	退会	32412	長島電忠電気	橋倉孝雄	519-3204	北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島46-30	05974-7-0470	(届出) 51-131
志摩	退会	33412	浜中電気商会	浜中雄也	517-0209	志摩市磯部町山田258	0599-55-0211	13-62
上野	退会	31482	㈱森電機商会	中谷保夫	518-0842	伊賀市上野桑町1369-3	0595-21-1899	13-229
亀山 桑名 鈴鹿	承継加入	34948	㈱有井電気工事	有井政樹	519-0111	亀山市栄町1414-1	0595-82-2301	(届出) 87-19
	変更・承継	34448	㈱伊藤電工	伊藤宏幸	511-0841	桑名市大字小貝須字三太縄1310-1	0594-22-6813	13-131
	変更・承継	34722	杉本電機	杉本学	510-0226	鈴鹿市岸岡町2841-5	0593-86-0683	13-53
津	変更	31090	㈱トーエネック	錦 馨	514-0131	津市あかつ台1-1-5	059-231-5656	(届出) 大臣4665
津	変更	31025	㈱長谷川電気工業所	長谷川浩司	510-0306	津市河芸町一色1653-1	059-245-0157	(届出) 89-26
津	変更	31129	㈱シーテック三重支社	北出 清	514-0042	津市新町2-4-53	059-227-6555	(届)局長 46010
津	変更	31107	㈱安濃電工	森 司	514-2322	津市安濃町戸島1035	059-268-2195	(届出) 86-19
桑名	変更	34403	桑名電気産業㈱	伊藤弘幸	511-0834	桑名市大字大福字寺跡442	0594-23-6711	(届出) 大臣621
津	変更	31020	㈱三友電気商会	桑名 健	514-0012	津市末広町25-8	059-228-4256	(届出) 460010
津	変更	31080	㈱篠木電気商会	篠木建一郎	514-0008	津市上浜町2-220	059-228-0534	(届出) 91-17
桑名	変更	34443	㈱川合電機	川合 博	511-0049	桑名市八幡町49	0594-22-7498	(届出) 13-208

お問い合わせ先

三重県電気工事業工業組合
事務局

TEL 059-226-4862

FAX 059-226-4869

E-mail miedkuni@ztv.ne.jp

九月一日付
電気安全サービス
事務局職員
宮田 順
不慣れなためご迷惑をおかけするかと思いましたが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

事務職員紹介

つぎの方が、不幸にして物故されました。
謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。
H17・8・26
員弁支部
多湖電気商会
多湖 正義(78才)

計報

＝安全推進運動標語＝

元気よく 安全呼称で 無災害

習慣が わが身を守り 家族も守る

慣れたころ 基本にもどり 安全作業

第1種電気工事士定期講習について

- 第1種電気工事士定期講習のご案内（講習申込書が在中）が受講日の約5ヶ月前に「独立行政法人製品評価技術基盤機構」から受講対象者宛に送付されますので内容をご確認のうえ、下記事項を必ず実施して、同封の封筒により講習申込書を早めに提出して下さい。
 - 1) 所要事項を記入する。
 - 2) 受講料を同封の振込用紙により振込み、郵便振替払込受付証明書（お客様用）を講習申込書に貼付する。
 - 3) 写真を貼付する。
 - 4) 資料にて「講習申込書提出先」と赤字で書かれた箇所を確認し、配達記録で郵送する。
- 住所変更及び改名等された方は、速やかに各支部事務局経由、本部事務局までご連絡をお願いします。
- 三重県内での受講受付は、三重県電気工事業工業組合及び(株)日本電気協会中部電気協会が担当します。なお、講習会場は、いずれも「三重電気会館」となります。
- 平成18年度の三重県内講習予定

講習月日	講習会場	申込書提出先（問合せ先）
4月5日(水)	三重電気会館	(社)日本電気協会中部電気協会 (TEL 052-252-5019)
10月26日(木)	三重電気会館	三重県電気工事業工業組合 (TEL 059-226-4862)
H19年 2月1日(木)	三重電気会館	三重県電気工事業工業組合 (TEL 059-226-4862)

※講習当日は、ご希望の方に会場で弁当を販売します。(価格500円～600円程度)

石綿(アスベスト)に関する講習会開催について

昨今、石綿による健康被害が社会問題となっており、電気工事業にも直接影響していると考えられます。そこで昨年12月より支部の定例会に合わせて講習会を実施しており、1月以降の予定は下記のとおりです。

記

- 講習会実施団体 建設業労働災害防止協会 三重県支部
- 講習会実施日

支部名	開催日	連絡先	支部名	開催日	連絡先
上野	2/15(水)	0595-23-4814	鳥羽	1/25(水)	0599-26-2875
松阪	1/13(金)	0598-21-3275	四日市	1/17(火)	0593-51-7043
大台	2/22(水)	0598-82-1413	亀山	2/16(木)	0595-82-7577